

No.	010	—	2001	事務事業名	母子各種健康診査事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	母子保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(5)母子保健の充実				
	事業の対象	妊婦及びその家族、0歳～3歳（年少）児及びその保護者・家族				根拠法令	母子保健法						
	事業の目的	最終的	妊娠・出産・育児をとおして、母性・父性がはぐくまれ、乳幼児が心身ともに健やかに育つことを目指します。			今年度	1歳6か月・3歳児健康診査の受診率アップと子どもの健やかな成長を目指すため、乳幼児期から生活リズムを整えることの大切さの普及・啓発等、切れ目のない支援を行うとともに育てにくさを感じる親により添う支援を行います。						
	活動内容	①	母子健康手帳等を交付し、妊娠期からの健康づくりと、仲間づくりを支援します。			④	病気や事故から子どもをまもるため、小児救急医療体制・子どもの事故予防・予防接種事業等について、周知・啓発を行います。						
		②	乳幼児の健やかな発育・発達を支援するため、節目となる時期に各種健康診査、健康教室を開催します。			⑤	関係機関と連携し、子育て支援体制を構築します。						
		③	1歳6か月健診、3歳児健診における受診勧奨、受診者のフォロー、未受診者のフォロー等を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		1歳6か月健康診査受診率	受診者数/対象者数		%	目標	95	100	100	100			
				実績	97	94							
3歳児健康診査受診率		受診者数/対象者数		%	目標	90	95	95	100				
					実績	95	88						
育児相談教室参加者率		年間参加者数/年間対象者数		%	目標	100	100	95	100				
				実績	83	78							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	531 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	46 千円	18 千円	24 千円								
		一般財源	21,051 千円	21,128 千円	29,506 千円								
	計(A)	21,628 千円	21,146 千円	29,530 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.283 人	20,007 千円	4.564 人	27,443 千円	4.564 人	27,484 千円					
		臨時職員工数・経費	2.397 人	4,514 千円	2.291 人	4,450 千円	2.505 人	4,817 千円					
	全体事業費(A+B)		46,148 千円	53,040 千円	61,832 千円								
一次評価者	母子保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	少子高齢化、核家族化の進むなか、母子保健に関するニーズは多種多様です。妊娠・出産・育児期において切れ目のない支援体制が必要です。												
有効性	母子保健法に基づき、ライフサイクルにおける適切な時期に、健康診査・健康教室等を実施しています。												
達成度	健康診査や育児相談教室等の受診率は若干目標を下回っていますが、未受診者・未参加者に対して個別対応を行い支援を行っています。												
効率性	健康診査や健康教室、他の関係機関が実施する事業等を利用して、母子保健に関する指導や相談を実施しています。												
当面の課題	少子化、核家族化が進むなか、母子保健のニーズがますます高まっています。子どもの健やかな発育・発達や、育てにくさを感じる親によりその支援を行うために、子育てに関する正しい知識の普及・啓発、妊娠期からの切れ目のない支援体制が必要です。												
改訂計画	子どもの健やかな発育・発達を支援するため、子育て支援等関係部署・関係機関等と連携をもちながら関わります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	5	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	各種健診受診率は、概ね設定目標を達成しています。けれども少子高齢化・人口減少社会が進行する中、より丁寧できめ細かな事業展開が必要です。引続き事業の必要性を説明し、各種健診への受診勧奨や母子保健の各種教室や講座等への参加促進のための働き掛けを地道に行い、受診率や参加率の向上に繋げていく必要があります。また、子どもの成長過程に応じて、保健・福祉、教育等の各関係分野との連携による一体的な行政サービスの提供に向けた取り組みも必要です。												

No.	010	—	2005	事務事業名	特定不妊治療費助成事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	母子保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	26年度～	年度				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(5) 母子保健の充実				
	事業の対象	特定不妊治療を行う夫婦				根拠法令							
	事業の目的	最終的	特定不妊治療を行う場合、市が費用の一部を助成することで治療による経済的負担の軽減を図り、望まれる妊娠と健やかな子どもの育成を図る事ができる。			今年度	周知を徹底し、より多くの方に助成事業を知ってもらう。						
	活動内容	①	特定不妊治療の指定医療機関等に対し、事業の周知を行います。			④							
		②	助成事業の事務手続きを円滑に行います。			⑤							
		③	事業を申請した者の出生数を把握します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		特定不妊治療費助成事業		申請人数		人	目標	20	20	20			
					実績	19							
出生数		出生数		人	目標	4	4	4					
					実績	3							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	936千円	1,004千円								
	計(A)	0千円	936千円	1,004千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.076人	457千円	0.076人	458千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	1,393千円	1,462千円								
一次評価者	母子保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	近年晩婚化・晩産化が進行しており、不妊治療を受ける人が年々増加しています。												
有効性	助成事業を実施することで、今まで経済的負担から高額な医療費のかかる不妊治療をあきらめる方が少なくなることで少子化対策に期待できます。												
達成度	実施医療機関等に対し、周知を行う事ができました。申請人数は、ほぼ目標人数に達しており、出生数も概ね目標人数になっています。												
効率性	1年度あたり5万円を上限(通算5年間)助成します。本市も近隣市町に合わせて実施し、適宜見直しを行います。												
当面の課題	平成26年度に助成事業を開始し、概ね予定通りの人数の方に助成を行いました。今後も当該事業の周知を行い、望まれる妊娠と健やかな子どもの育成につながることを期待します。												
改 革 画	助成事業の周知を継続していくことで少子化対策につなげます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	概ね予定どおりの助成事業が実施できています。一人でも多くの出生数に繋がるよう、事業の周知を続ける必要があります。												